

# 国松石材株式会社

発行所 / 国松石材株式会社

本社 福岡市博多区下呉服町8-35  
 営業本部 粕屋郡志免町南里11-5  
 TEL 092-957-3500 / FAX 092-957-3505  
 墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日月山霊園下)  
 TEL 092-672-7257 / FAX 092-672-7258  
 工場 福岡市東区松田3-16-12  
 TEL 092-629-1189 / FAX 092-629-2043  
 URL <http://www.kunimatu.com>

# 松ぼっくり

## 2006年 秋号

博多駅から真つ直ぐ伸びる大博通りに面した東長寺は今年、創建一二〇〇年を迎えます。真言宗では、弘法大師創建の寺として日本で一番古い霊場です。

今から、一二〇〇年前の大同元年(八〇六年)十月、唐での修行を終えた弘法大師が、博多の港に着きました。その際、一軒の船宿を買い取りました。唐より持ち帰った仏像や教本、仏具などを船から降りし整理して目録に収めるためです。弘法大師はその船宿を寺とし「唐で学んだ真言密教が東に長く伝わるように」という願いをこめて「東長密寺」と名付けました。これが東長寺のはじまりです。この時、弘法大師は三十三歳の若さでした。



六角堂

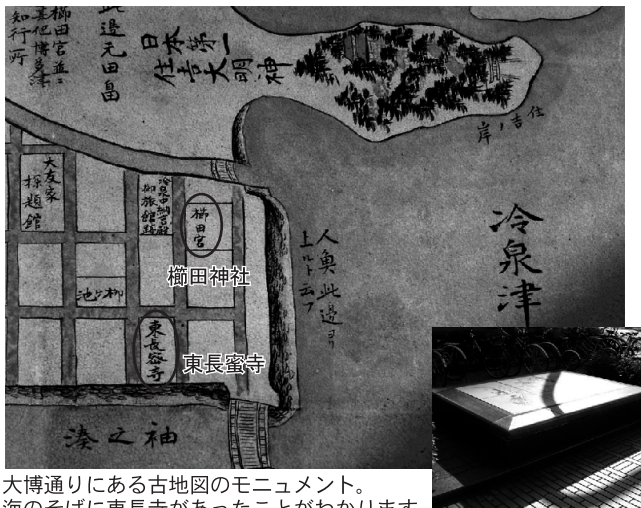


本堂

当時の東長寺は、今の場所よりもう少し海の方にあったそうです。昔、行町(現・奈良屋町)と呼ばれていたところ(行町という町名は、弘法大師が寺を建て勤行した、ということから生まれたそうです。現在の場所に移ったのは、四〇〇年ほど前ではないかと言われています。

今回は、そんな東長寺を訪ねてみました。山門を入ってすぐ左にあるのが六角堂(福岡市文化財指定)です。天保十三年(一八四二年)、博多在住の豊後屋栄造(万歳楼)が名古屋以西の商人から財を募って、名古屋の堂宮大工伊藤平左衛門を招き、建

立寄進したものです。六角重層の宝形造り、本瓦葺です。輪蔵と覆屋からなる形態的・機能的に優れた仏殿です。中には、白衣観世音、北震霊符神、弘法大師、文殊菩薩、地藏菩薩、薬師如来の六体の仏像が安置されています。普段、扉は閉ざされていますが、毎月二十八日のお不動様のお祭りの日には開けられます。



大博通りにある古地図のモニュメント。海そばに東長寺があったことがわかります。



旧行町の石碑。後ろは昭和通りです。

六角堂を出ると正面に大きな五輪塔が見えます。これは第二代藩主・黒田忠之公の墓所（福岡市指定史蹟）です。本来、黒田家の菩提寺は千代町の崇福寺です。なぜ忠之公は東長寺にお墓を建てたのでしょうか。諸説ありますが、忠之公の幼少時代のお守役が真言宗のお坊さんだったから、という説が有力のようです。三つ子の魂百まで、ではありませんが、幼いころ身近にあった真言宗の教えが、心の中にずっとあったのでしょうか。黒田家の菩提寺は崇福寺だが、やはり自分は真言宗に帰依したいという思いから、東長寺に建てたのではないかと、このことです。忠之公のほか、三代光之公、八代治高公の墓所があります。黒田家墓所の保存整備事業の折、弊社が修復工事をいたしました。



省し、大仏様にもう一度手を合わせました。仏像は、見る人の心の内によって顔が違って見えると聞いたことがあります。地獄・極楽めぐりつた後に見上げた大仏様のお顔は、めぐる前よりも少し和らいだように見えました。

境内の大仏殿には、福岡大仏が安置されています。昭和六十三年より彫刻がはじまり、四年の歳月を経て完成しました。高さ十・八メートル、重さ三十トン、光背の高さ十六・一メートル、光背に七仏や十三仏も彫られ、後壁面には五〇〇〇の小仏が祀られています。木造坐像では、日本最大級の大きさです。大仏様の下には「地獄・極楽めぐり」があります。恐ろしい地獄の様子を描いた絵を見た後、曲がりくねった真つ暗な道を、手すりをたよりに進むと極楽の絵に至る、というものです。暗闇の先に光に包まれた極楽の絵を見たとき、本当に地獄から極楽へたどり着いたような気分になりました。出てきた後、これまでの自分の行いを反

このほかに、東長

寺には、平安時代に作られた千手観音菩薩像や、弘法大師千字文などがあります。弘法大師千字文は、織田信長が本能寺の居間に掛けていたものを、本能寺の変の際、博多の豪商島井宗室が手に入れ、大師ゆかりの東長寺へ寄贈したといわれています。

博多の名刹、東長寺は、古いものから新しいものまで、多くの見どころのあるお寺でした。

取材ご協力ありがとうございました。

真言宗別格本山 東長寺

ご住職 藤田紫雲様

福岡市博多区御供所町2番4号

TEL 092 (291) 4459



弘法大師開創一二〇〇年記念の行事

十月一日

十時

庭儀大曼荼羅法要

十二時

吟遊詩人 真柄征侑コンサート

(於・本堂)

十四時

福岡大仏まつり

(於・大仏殿)

十月三日

十時

奉祝 御写経奉納法要

十月四日

十四時 (昼の部)

十八時三十分 (夜の部)

天の響き (声明公演)

大原魚山声明と高野山南山進流

声明の二大共演

(於・アクロス福岡シンフォニーホール)

十月八日

十時

大般若転読法要

十三時

柴灯大護摩

(数十名の山伏による炎の祭典)

十七時

東長寺開創一二〇〇年奉祝

和太鼓フェスティバル

(於・東長寺境内)

# 写経のすすめ

みなさん、写経をご存知でしょうか。写経とは、お釈迦様が説かれた教えを一字一字、書写するもので、お経のコピーと言われています。

写経の基になるお経は、お釈迦様の入滅（紀元前四八〇年頃）後、残された五百人のお弟子さんたちが集まって、お釈迦様の言葉（教え）を正しく残すため、「私はこのように聞いた（如是我聞）」と全員でひとつひとつ確認しながらまとめられたそうです。そのためお経の最初は必ず「如是我聞」で始まるのです。この当時は、聖人の言葉は口伝するというインドの古い習慣によって文字にせず、そのまま暗誦して伝える方法が採られていたようです。それから数百年後に、口伝ではなく多羅樹の葉に文字でお経が記録され始めました。これが貝葉で「写経」つまりお経のコピーの始まりです。

文字で書かれた経典は、その後各地に伝わり、日本には、天武天皇の白鳳二年（六七四年）に「書生を集めて一切経を川原寺において写さしむ」と『日本書記第二十九』に記されています。これがわが国最古の写経といわれています。今日までおよそ千三百年にわたり、伝えられてきたことになりました。

またインドでは、写経をお墓に納めるといふ風習がひろく行われており、日本には平安時代に伝わりました。納められるお経は、『法華経』が最も多く、次いで『阿弥陀経』があります。お経を納めることによって、亡くなった人の生前の罪を消し去り、無事に成仏し、安らかな極楽往生を願っていたようです。そんな長い歴史を重ねてきたからこそ、写経には作法があります。

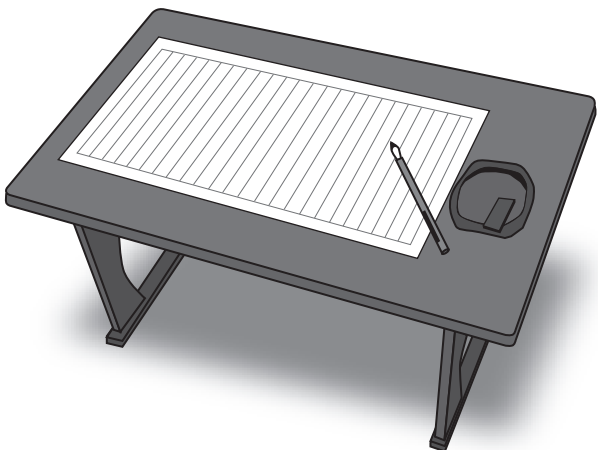
## 写経の仕方・作法

- ① 整頓された静かな部屋を選び写経用紙、机、筆、墨等を揃えます。
- ② 香をたき、部屋及び心身を清めます。
- ③ 口をすすぎ、手を洗い衣服を正して、机に向かって正座します。
- ④ 腰を立てて身を調べ、呼吸を調べ、心を調べます。
- ⑤ 毛筆の場合は、浄水を用いて静かに墨をすりませます。
- ⑥ 静かに筆をとり、姿勢を直し、一点一画心をこめてお経を写します。
- ⑦ 最後に合掌をし、写経したものを確かめながら心経を誦みます。

- ・姿勢がよくなり、心と身体が落ち着いてくる。振る舞いが凜としてくる。
  - ・心が清浄になる
  - ・顔が清々してくる
  - ・集中力がついてくる
  - ・忍耐力がついてくる
  - ・字が上手になる
  - ・ストレスが軽減する
  - ・自然治癒力が向上する
- 写経を通じてこのような効果があるとは驚きではないでしょうか。焦らずゆつくりと自分のペースで写経に取り組んでみませんか。

このような作法の話をすると、写経は面倒だなと思う人もいるかもしれませんが。また、一字一字書写するわけですから、きれいに上手に書かなくてはいいけないと思う人もいるかもしれませんが。しかし気にしないで下さい。冒頭で述べたように、写経は、お経のコピーです。お釈迦様の教え、それを残すために集まった五百人のお弟子さんたちの想いが込められています。大切なのは、うまい字を書くのではなく、心を込めて書き、一字一字に神経を集中して、完成させていくということです。

また、写経を行うと次のような効果があるようです。



# 町名散歩

第十一回

地行 じぎょう

今年三月に行われたワールドベースボールクラシック(WBC)で日本代表の監督を務め、見事優勝へと導いた王貞治監督。六十六歳という年齢で今もなお夢を追い続けているその姿に感動させられます。その王監督率いる福岡ソフトバンクホークスの本拠地「福岡(Fukuoka Japan Dome)」は、福岡を代表する建物です。今回は、そのドーム周辺の町、地行をご紹介します。

福岡の菰川(こもがわ)と樋井川(ひいがわ)の間にある地行という町は、東より順次宅地となったところですが、始めは地形としていたが、のちに地行となりました。元和四年(一六一八年)には、黒田長政が町人に小松を植えさせたことから鳥飼松原とも呼ばれていました。慶安の頃から藩は松を伐り、足軽の町としました。藩は足軽屋敷に土堀を禁じ、蓬菜(ほうさい)を植えて垣根とすることを命じたため、この地では、珍しくてめつたに見ることのできない「ちんちく堀(べい)」に巡り会うことができます。蓬菜竹は、重く水に沈むことから、ちんちく(沈

竹)の名で親しまれていますが、堀が低く、ちんちくりんなどころから、きんちくが訛って「ちんちく堀」と呼ばれるようになったと言われています。大正時代までは各町に見られましたが、現在は少なくなっている貴重なものがあります。樋井川沿いには浄満寺、真福寺があり、西町の金龍寺とともに、西からの外敵を防ぐ要となっていました。浄満寺には、前亀井学の研究、顕彰を目的として儒学と医学を一体として学び実践した亀井南冥(かめいなんめい)の墓所があります。

地行より海側にある地行浜には、複合商業施設「ホークスタウン」があり、新しい市街地として賑わいを見せています。地行中央公園や海もすぐそばにあるため、ゆっくりとした時間を過ごすことができます。更に、百地浜まで足を延ばすと、福岡タワーや福岡市博物館、福岡市総合図書館などの施設も充実しています。地行から地行浜、百地浜へのんびり歩いてみるのも魅力があつていいのではないのでしょうか。



小雨降る中、がんばって登りました。皆様良い笑顔ですね。左はご参加された松本ヤチヨ様の俳句です。

夏の山道なき藪を踏めば鳴る  
深山霧鳥花に登りの列乱れ



## 初夏のハイキングのご報告

5月27日(土)大分県湯布院にある福万山(1236m)ハイキングにスタッフ7名を含めた31名が参加しました。往路の2台のバスの中で、今回のハイキングでご指導をいただいた「登山の店シェルパ」の阿南さんご夫婦より、基本的な登山道具の説明を受け、いざ福万山へ。小雨で足元が悪く、風も強くて登山日和とは言えない天候でしたが、参加された方からは、楽しかったとの感想をたくさんいただきました。頂上付近でいただいた2段重ねのお弁当もとてもおいしく好評でした。

次回もたくさんのご参加をお待ちしております。

登山専門店・山の店 シェルパ  
福岡市博多区月隈6丁目23-9  
TEL(092)514-0111

## 第5回 松ぼっくり杯 ゴルフコンペ開催のご案内

開催日 平成18年10月15日(日) 9時03分スタート  
(集合8時30分)  
開催コース ザ・クィーンズヒルゴルフクラブ  
福岡県前原市大字富838番地  
参加費 21,578円(税込み)  
※プレイ費、パーティ費、カート費込み  
募集人数 24名(6組) 予定  
お申し込み 同封の葉書でお申し込みください

※締め切り：平成18年9月25日(月) 必着  
ご夫婦、ご友人お誘いの上、ふるって御参加ください!!

◎お問い合わせ：☎0120-245400 担当・森

## プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々当選されました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①商品券5,000円分  
伊東弥生様、吉田明浩様、小宮様、森繁実様
- ②福岡ソフトバンクホークス観戦ペアチケット  
梅本朋文様、他1名様
- ③九州国立博物館観覧ペアチケット  
山下謙様、他9名様
- ④写経セット  
光安洋二様、他9名様